



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月13日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ戦略企画 (氏名) 長谷川 孝 TEL 042-750-8588
 部長
 半期報告書提出予定日 2026年1月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期中間期	61,104	7.6	1,264	△15.6	1,454	△15.1	741	△18.8
2025年5月期中間期	56,781	7.3	1,498	41.5	1,713	35.1	912	29.4

(注) 包括利益 2026年5月期中間期 794百万円 (△19.6%) 2025年5月期中間期 988百万円 (10.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年5月期中間期	円 銭 42.24	円 銭 —
2025年5月期中間期	46.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年5月期中間期	百万円 58,623	百万円 19,229	% 32.3
2025年5月期	57,380	18,867	32.5

(参考) 自己資本 2026年5月期中間期 18,924百万円 2025年5月期 18,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 127,000	% 6.5	百万円 3,800	% 10.2	百万円 4,000	% 2.5	百万円 2,200	% 4.7

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 当社は、2025年10月17日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行っております。2026年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ブックオフ北海道、除外 1社 (社名) J&K TRADING LLC

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年5月期中間期	20,547,413株	2025年5月期	20,547,413株
2026年5月期中間期	2,994,908株	2025年5月期	3,000,708株
2026年5月期中間期	17,548,071株	2025年5月期中間期	19,770,092株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は T D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(3) 当中間期の財政状態の概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、経営理念に基づく当社グループの事業活動を示すミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強みを活かし、リユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の実現に向けた取組を推進するとともに、全従業員が自信と情熱を持ち、安心して働き、成長できる会社になることを目指します。

当社グループは2028年5月期を最終年度とする中期経営方針において、グループの強みである人財育成やサステナビリティへの取組などの普遍的な価値を土台とし、「深化領域」と位置付ける国内ブックオフ事業で、認知度の高さを活用して安定した収益を獲得するとともに、「探索領域」と位置付けるプレミアムサービス事業、海外事業や新たな事業に対して経営資源・ノウハウを投入し、経験豊富な人財の輩出によりグループの事業規模拡大と利益成長を進めることで、事業ポートフォリオの変革を行うことを定めました。

当中間連結会計期間においては、売上高61,104百万円（前年同期比7.6%増）、経常利益1,454百万円（前年同期比15.1%減）となりました。売上高は、国内ブックオフ事業、プレミアムサービス事業、海外事業、その他事業の各セグメントにおいて前年同期を上回りました。一方、各セグメントで減益となったことで、経常利益は前年同期を下回りました。

カザフスタンにおける合弁契約を解消し、出資持分を全て譲渡したことに伴う関係会社出資金売却損や、国内ブックオフ事業における戦略的な退店に伴う店舗等閉鎖損失引当金繰入額の影響等により、親会社株主に帰属する中間純利益741百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

第2四半期連結会計期間は、国内ブックオフ事業、プレミアムサービス事業において、増収増益となりました。経常利益は867百万円（前年同期比67.1%増）となり、増益に転換しました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内ブックオフ事業)

当中間連結会計期間において、BOOKOFF PLUS 1店舗（登別店）、BOOKOFF 8店舗（苫小牧見山店、恵庭バイパス店、旭川永山店、旭川旭神店、旭川旭町店、千歳サーモン橋店、札幌山鼻店、苫小牧柳町店）をFC加盟店より受管しました。またBOOKOFF SUPER BAZAAR 1店舗（トライアル伊勢崎中央店）を出店しました。

直営既存店においてトレーディングカード・ホビー、貴金属・時計・ブランドバッグ、アパレル、書籍等の売上高が前年同期を上回ったことで、売上高52,952百万円（前年同期比6.5%増）となりました。人件費の増加は売上高の伸長に伴う売上総利益の増加で吸収したものの、システム機器の更新やツール類の価格改定等、システム関連費用が増加し、セグメント利益2,339百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

第1四半期連結会計期間は減益となりましたが、第2四半期連結会計期間は各種費用の増加を売上総利益の増加が上回り、増益に転換しました。

(プレミアムサービス事業)

当中間連結会計期間において、hugall 3店舗（井筒屋中間ショッピング、柏高島屋ステーションモール店、芦屋モンテメール店）、aidect 1店舗（日本橋高島屋S.C.店）を出店しました。

仕入金額の増加に伴い、売上高は前年同期を上回り、売上高4,029百万円（前年同期比17.6%増）となりました。一方で、人件費等の増加を売上総利益の増加で吸収するには至らず、セグメント損失14百万円（前年同期はセグメント利益17百万円）となりました。

第2四半期連結会計期間においては、貴金属相場高騰の影響による仕入金額の増加により、増益に転換しました。

(海外事業)

当中間連結会計期間において、アメリカ合衆国にBOOKOFF 1店舗（Noho店）、マレーシア国にJalan Jalan Japan 3店舗（Mesa Mall Nilai店、Galleria Kotaraya店、Wangsa Maju店）を出店しました。

アメリカ合衆国内の「BOOKOFF」、マレーシア国の「Jalan Jalan Japan」それぞれにおいて新規出店及び過年度出店が寄与し、売上高が前年同期を上回ったことで、売上高3,326百万円（前年同期比13.4%増）となりました。一方で、マレーシア国における既存店売上高が前年同期を下回ったこと等により、セグメント利益365百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

(その他)

当中間連結会計期間において、Japan TCG Center 2店舗（八王子駅前店、千葉駅前店）を出店しました。

(2) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ370百万円増加し、6,998百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,257百万円（前年同期は935百万円増加）となりました。これは、法人税等の支払額597百万円、売上債権の増加額236百万円、棚卸資産の増加額221百万円等により資金が減少した一方、税金等調整前中間純利益1,347百万円、減価償却費1,117百万円等により資金が増加したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,364百万円（前年同期は1,763百万円減少）となりました。これは、新規出店、既存店リニューアルや譲受等に伴う有形固定資産の取得による支出922百万円、店舗譲受による支出339百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は471百万円（前年同期は658百万円増加）となりました。これは、配当金の支払額437百万円、社債の償還による支出330百万円、リース債務の返済による支出215百万円により資金が減少した一方、借入金の純増額1,454百万円により資金が増加したことが要因です。

(3) 当中間期の財政状態の概況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産残高は34,691百万円（前連結会計年度末は33,517百万円）となり、1,174百万円増加しました。現金及び預金が370百万円、商品が300百万円、その他流動資産が283百万円、売掛金が244百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産残高は23,931百万円（前連結会計年度末は23,863百万円）となり、67百万円増加しました。無形固定資産が125百万円減少した一方で、有形固定資産が267百万円増加したことが主な要因です。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債残高は39,393百万円（前連結会計年度末は38,513百万円）となり、880百万円増加しました。賞与引当金、未払法人税等が減少した一方、銀行借入により借入金が増加したことが主な要因です。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産残高は19,229百万円（前連結会計年度末は18,867百万円）となり、362百万円増加しました。剰余金の配当を実施した一方、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことが主な要因です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の連結業績予想につきましては、2025年7月10日に発表しました公表数値に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	6,628	6,998
売掛金	3,888	4,133
商品	19,731	20,032
その他	3,268	3,551
貸倒引当金	△0	△23
流动資産合計	33,517	34,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,819	4,953
リース資産（純額）	4,053	3,939
その他（純額）	2,869	3,116
有形固定資産合計	11,742	12,009
無形固定資産		
ソフトウエア	1,989	1,734
ソフトウエア仮勘定	103	173
その他	25	85
無形固定資産合計	2,118	1,992
投資その他の資産		
差入保証金	7,286	7,397
その他	2,776	2,662
貸倒引当金	△60	△130
投資その他の資産合計	10,002	9,928
固定資産合計	23,863	23,931
資産合計	57,380	58,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	659	990
短期借入金	6,433	4,210
1年内償還予定の社債	660	660
1年内返済予定の長期借入金	3,027	3,635
リース債務	866	921
未払法人税等	562	370
賞与引当金	851	748
店舗等閉鎖損失引当金	15	27
その他の引当金	203	146
その他	6,913	6,719
流動負債合計	20,192	18,430
固定負債		
社債	4,340	4,010
長期借入金	7,901	10,972
リース債務	3,364	3,248
資産除去債務	2,523	2,543
その他	191	188
固定負債合計	18,320	20,963
負債合計	38,513	39,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,867	6,869
利益剰余金	15,140	15,443
自己株式	△3,813	△3,805
株主資本合計	18,295	18,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	59
為替換算調整勘定	254	258
その他の包括利益累計額合計	331	317
非支配株主持分	240	304
純資産合計	18,867	19,229
負債純資産合計	57,380	58,623

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	56,781	61,104
売上原価	24,384	26,438
売上総利益	32,396	34,666
販売費及び一般管理費	30,898	33,401
営業利益	1,498	1,264
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	62	65
古紙等リサイクル収入	129	125
その他	188	204
営業外収益合計	380	394
営業外費用		
支払利息	112	148
持分法による投資損失	4	6
その他	48	50
営業外費用合計	165	205
経常利益	1,713	1,454
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	—	67
特別利益合計	0	70
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	52
店舗等閉鎖損失	7	24
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	25	33
特別調査費用等	18	—
固定資産除却損	12	30
減損損失	23	37
その他	0	—
特別損失合計	86	178
税金等調整前中間純利益	1,628	1,347
法人税、住民税及び事業税	452	397
法人税等調整額	218	157
法人税等合計	671	554
中間純利益	956	792
非支配株主に帰属する中間純利益	44	51
親会社株主に帰属する中間純利益	912	741

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益	956	792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△19
為替換算調整勘定	18	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	31	2
中間包括利益	988	794
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	923	727
非支配株主に係る中間包括利益	64	66

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,628	1,347
減価償却費	1,059	1,117
減損損失	23	37
のれん償却額	1	5
賞与引当金の増減額（△は減少）	△45	△104
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	93
店舗等閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△1	12
その他の引当金の増減額（△は減少）	△58	△56
支払利息	112	148
持分法による投資損益（△は益）	4	6
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△67
特別調査費用等	18	—
固定資産売却損益（△は益）	△0	△3
固定資産除却損	12	30
関係会社出資金売却損益（△は益）	—	52
売上債権の増減額（△は増加）	△211	△236
棚卸資産の増減額（△は増加）	△348	△221
仕入債務の増減額（△は減少）	123	322
その他	99	△536
小計	2,417	1,947
利息及び配当金の受取額	8	13
利息の支払額	△102	△153
特別調査費用等の支払額	△452	—
法人税等の支払額	△950	△597
法人税等の還付額	14	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	935	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,392	△922
無形固定資産の取得による支出	△219	△133
投資有価証券の売却による収入	—	114
差入保証金の差入による支出	△244	△211
差入保証金の回収による収入	174	169
貸付金の回収による収入	—	47
店舗譲受による支出	—	△339
その他	△82	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,763	△1,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	326	△2,223
長期借入れによる収入	600	5,000
長期借入金の返済による支出	△2,513	△1,321
社債の償還による支出	—	△330
社債の発行による収入	3,000	—
リース債務の返済による支出	△261	△215
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△494	△437
財務活動によるキャッシュ・フロー	658	471
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△139	370
現金及び現金同等物の期首残高	7,180	6,628
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,041	6,998

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間（自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	49,705	3,427	2,933	56,066	714	56,781	—	56,781
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	49,705	3,427	2,933	56,066	714	56,781	—	56,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	0	—	27	391	419	△419	—
計	49,733	3,427	2,933	56,094	1,106	57,200	△419	56,781
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,381	17	414	2,813	△110	2,703	△989	1,713

- (注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△989百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	52,952	4,029	3,326	60,308	795	61,104	—	61,104
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,952	4,029	3,326	60,308	795	61,104	—	61,104
41	0	—	41	480	521	△521	—	—
計	52,993	4,029	3,326	60,349	1,276	61,626	△521	61,104
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,339	△14	365	2,690	△169	2,520	△1,066	1,454

- (注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△1,066百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。